

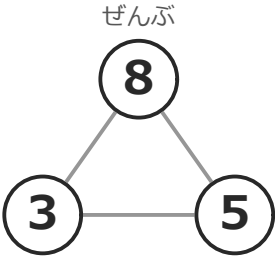
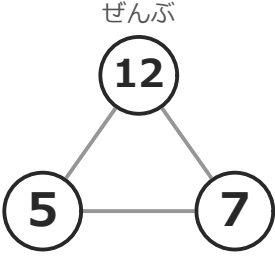
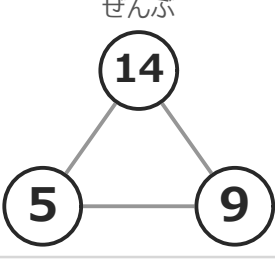
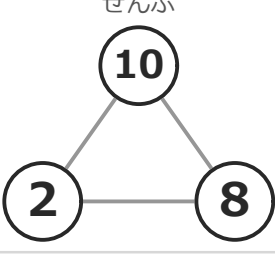
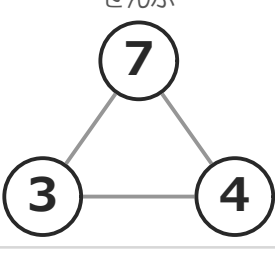
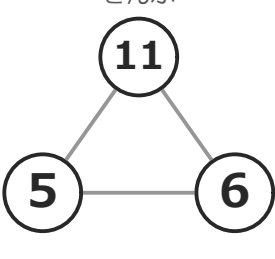
むしくい ひきざん (かぞくの しき) ①

1ねんせい/たしざん から 4つの しき 5もん

なまえ _____

ひづけ _____

3つの かずで、4つの しきがつくれます。たしざんがひとつできています。
のこりの しきの □に かずをかきましょう。
さんかくの いちばん うえが ぜんぶ、したの 2つが ぶぶんです。

れい		$3 + 5 = 8$ $8 - 3 = \boxed{5}$	$5 + \boxed{3} = 8$ $8 - \boxed{5} = 3$
(1)		$7 + 5 = 12$ $12 - 7 = \boxed{}$	$5 + \boxed{} = 12$ $12 - \boxed{} = 7$
(2)		$5 + 9 = 14$ $14 - 5 = \boxed{}$	$9 + \boxed{} = 14$ $14 - \boxed{} = 5$
(3)		$8 + 2 = 10$ $10 - 8 = \boxed{}$	$2 + \boxed{} = 10$ $10 - \boxed{} = 8$
(4)		$3 + 4 = 7$ $7 - 3 = \boxed{}$	$4 + \boxed{} = 7$ $7 - \boxed{} = 3$
(5)		$6 + 5 = 11$ $11 - 6 = \boxed{}$	$5 + \boxed{} = 11$ $11 - \boxed{} = 6$



むしくい ひきざん (かぞくの しき) ①【こたえ】

1ねんせい／たしざん から 4つの しき 5もん

なまえ _____

ひづけ _____

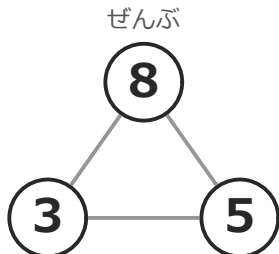
おうちの方へ

できているたし算と同じ3つの数で、残りの3つの式が書けます(□は1つずつ)。

ひき算は「ぜんぶーぶぶん＝もう一方のぶぶん」。どちらを引くかで迷ったら、さんかくを指でたどって。

ぜんぶが10をこえる家族(くり下がりのあるひき算になる)は3つです。

れい



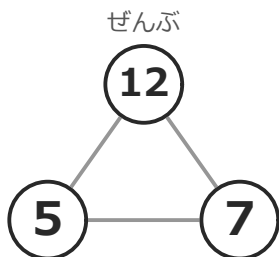
$$3 + 5 = 8$$

$$5 + \boxed{3} = 8$$

$$8 - 3 = \boxed{5}$$

$$8 - \boxed{5} = 3$$

(1)



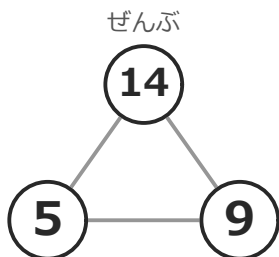
$$7 + 5 = 12$$

$$5 + \boxed{7} = 12$$

$$12 - 7 = \boxed{5}$$

$$12 - \boxed{5} = 7$$

(2)



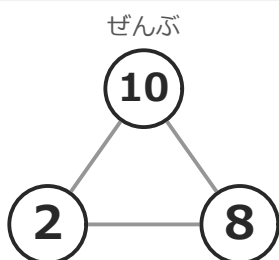
$$5 + 9 = 14$$

$$9 + \boxed{5} = 14$$

$$14 - 5 = \boxed{9}$$

$$14 - \boxed{9} = 5$$

(3)



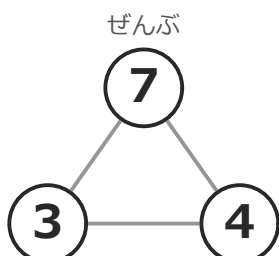
$$8 + 2 = 10$$

$$2 + \boxed{8} = 10$$

$$10 - 8 = \boxed{2}$$

$$10 - \boxed{2} = 8$$

(4)



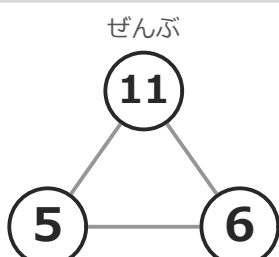
$$3 + 4 = 7$$

$$4 + \boxed{3} = 7$$

$$7 - 3 = \boxed{4}$$

$$7 - \boxed{4} = 3$$

(5)



$$6 + 5 = 11$$

$$5 + \boxed{6} = 11$$

$$11 - 6 = \boxed{5}$$

$$11 - \boxed{5} = 6$$